

>>>> 日新薬品工業株式会社

薬の伝統が今も息づく「忍者の里」から、世界のトップメーカーを目指す

江戸時代から脈々と続く 医薬品の製造販売

新名神高速道路・甲南ICから車で10分ほど。鈴鹿山脈を望む甲賀市甲賀町の豊かな自然の中に、白とブルーがひときわ映える「日新薬品工業」の本社ビルがあります。前庭もオフィス内も塵一つ落ちていない清潔感あふれる社内。より高い品質とより良い開発・製造・販売環境が、同社を平成20年から3年連続で「R&I」中堅企業格付けで「aa（ダブル・エー）」の評価に導いています。

「日新薬品工業の前身である日新製薬の創業は大正15年となっていますが、初代の曾祖父が配置薬販売業を始めたのは明治23年。もともとは、江戸時代からの家業を引き継いでいます」と、出迎えていただいた

大北正人社長。甲賀町はその昔、全国各地に薬を売りながら情報収集にあたったといわれる甲賀忍者の里。戦前には50社以上の薬品メーカーがひしめき、今も20人に1人が薬品製造に携わっているという薬の町です。「滋賀県の8つある代表的な地場産業の内、生産額のトップはくすりですよ」と大北社長が誇らしげに話された。

おいしい薬で“未来の健康”をつくり、トローチで世界をめざす

「良薬は口に苦し」と言われてきましたが、日新薬品工業が目指すのは「おいしい薬」の開発。同社の医薬品は、病院ではなく直接消費者へ届けられます。「治療薬ではなくヘルスケアが目的のおくすりですから、おいしくないと飲んでもらえない。だから、

一貫しておいしい薬づくりを目指しています」。「私は競争するのが嫌いです。値段で競争したくない。価格競争に巻き込まれないための、競争しなくてもいい特化した製品づくり。戦わずして勝つ独自路線。他社が真似のできないオリジナル製品の開発を目指しています」。その代表選手が、昭和43年から続く超ロングセラーのドリンク栄養剤「チオタミンD」と全国トップクラスの生産量を誇る、トローチです。特に独自の生産技術で他社と差別化した「おいしいトローチ」が人気の秘密です。このドラッグストア向けのプライベートブランドが日新薬品工業の主力製品になっています。

全国10万軒のユーザーに、「健康ライフのトータルサポーター」制度を導入

オリジナルブランドの開発力とともに、日新薬品工業の強みは、地元関西はむろん鹿児島県・徳之島から東北地方まで全国津々浦々に張り巡らされた販売ネットワークです。特に、「健康ライフのトータルサポーター」が全国10万軒のユーザー家庭や事業所へ直接訪問し、健康へのアドバイスを行う“置き薬”システムです。「障害者、高齢者、妊婦、育児中の方などあって薬局や店舗に自ら買いに行けない人、居住地の近くに薬局や店舗がない人との触れ合いの中から貴重なご意見をいただき、製品開発に反映させています。高齢化社会と、自分の健康は自分で守る『セルフメディケーション』の意識が高まる中で、顧客との直接コミュニケーションは製品開発に欠かせません」と、古くて新しい戦略で未来を見つめています。

立命館大学との連携に期待

製薬会社にとって産学連携は欠かせません。「当社も私の母校の京都薬大と連携



